

ヨモヨモ新聞

2601号

まさかの年末高騰！いつまで続く？

コロナ禍以降の高騰していた年も12月には例年通り相場が下がっていたのですが、昨年末は過去にない相場の動きがありました。グラフでも分かるように2025年の中古車平均相場（緑のライン）が12月にも拘らず上昇しました。（＊後半に下がっているのは高年式車両が買い控えで落札されないから平均額が下がつただけです）

中古車の相場に大きく影響を及ぼすロシアが中古車輸入の規制強化で160馬力を超える車種に高関税をかける事になったので、一部の高出力車は値下がりしたのですが、台数の多い小型車が各国との取り合いが激化した価格なっています。その他のにもコロナ禍が始まりのように見受けられます。それにしてもコロナ禍が始まった5年前は経済活動が停止していた時期があつたり部品供給の遅れから生産台数も少なかつたため、海外輸出で最も激戦区（輸出規制で5年以内という縛りの国が多い）な5年落ち車両の流通が少なくなっており、取り合いが激しく高騰の原因となっていますが、それでも異常に高いです。コロナ禍前のオーフォードでの中古車返金落札相場が約75万円だったのが、いまや驚愕の約120万円になっていますので約1・6倍！新車もかなり値上げを繰り返しているので、5年以上前に車を購入した人が買いたい場合『なんでこんなに高いの！？』と思われるはずです。但し、売却金額も相応に高いので一度査定をしてみる事をお勧め致します！



また『もう少し様子を見よう』と思っているうちに新車もどんどん値上がりしてしまって、某車種なんかはモデルチェンジでもないのに12月になんと40万円も値上がりしました。頭金もさることながら、金利上昇の可能性もありますので、足らない分はローンで早目に買つた方が結果的に安く買えるかも？なのです。頭金や下取り額を差し引いた借入額にもよりますが、ローン金利よりも今後の下取り車の値下がりや新車価格の値上げの方が大きければ、金利払いたくないと貯金しながら様子みていた方が損をする場合もありますよ。特に私の様な50代以上の方は昭和最後から平成初期のバブル時代の高金利を経験しているので『とにかくローンは損』という拒否反応がある方が多いですが、皆さんバブル時代の金利を覚えてますか？私が入社した平成2年の日産ディーラーは新車15・5%！中古車は何と17・5%ですよ！それから比べたらタダみたいな金利です（笑）但し、新車本体価格はバブル期の2倍になっていますが（苦笑）



FORZA 納車までの流れ



*高く売却するためには愛車の年式や経過月数を把握しておいてください！

これまでもヨモヨモ新聞で中古車相場＆買取り相場について書いてきましたが、相場は輸出先の規制に大きく左右されますので、いくら程度が良くても最も高く輸出される国の規制から外れると大きく値段が変わります。価格を引っ張り上げる輸入国のが多くが5年以内・7年以内となっているケースが多いのですが、国によっては新車登録から〇〇ヶ月以内とか、新車登録から3年未満とかになっている輸出先もあります。『いやいや、3年や5年なんかで買い替えなんて勿体ないわい！』って思われるかもしれません、車種によっては輸出規制内に売却すれば高額で売却出来て、結果的に次に買う車の追い金が少なくて済んで尚且つ維持費にお金を使わずに済むので、結果的に出費が少なくて済む場合もあるのです。

なんとなく10年とか10万キロとか区切りの良い数字で買い替えるのはハッキリ言って損です。今の中古車高騰時代は新車または新車に近い車を短いスパンで乗り換えるか、とことん乗り潰すかが良いかと思います。（まあでも『買いたい時が買い替え時！』という金言がありますのでお忘れなく（笑））

*7年を優に超える車でも、車種によっては『何でそんなに高く売れるの？』と思える場合があります。
*廃車の相談に来られて実は〇〇万円で買取れる車種だったという話や、買取り額がローンの残債を大きく上回っているケースも多いので、まずはご自身の愛車の価値をお問い合わせください。

***軽四から輸入車まで乗用車なら何でも、トラックは大型以外、バスは29人乗りまでなら買取りします！**

***トヨタ車全般・SUV・ミニバンは特に頑張ります！**

とにかくまずは一度ご連絡を頂き、今の金額を当社に確認させてください！

↓当社ホームページ

納車前なら注文内容変更が間に合うケースが殆どです。



ヨモヨモ新聞
バリ通信のバックナンバーも読みます！

***新車も中古車も買取りも、まずはご相談を！ 0120-14-2236**